



ズルい男に  
捕まりました

#1 隠しっ子

ZURUI OTOKO  
NI  
TSUKAMARI  
MASHITE

おけいど

presented  
by  
okeido

エキレター  
桃色日記



おい  
アンタ



酔ってるから...



大丈夫か？



——これが私と彼との出会いでした——

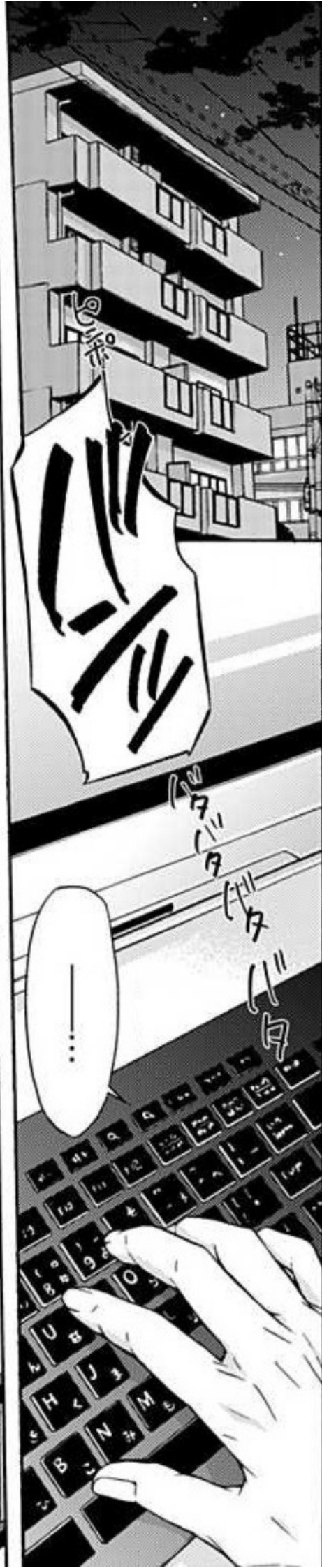


えのきた  
榎田さ——んっ!!!



かば

よしし久下  
今日はどんな  
ネタだー?



!!!



まあ——  
とりあえずは

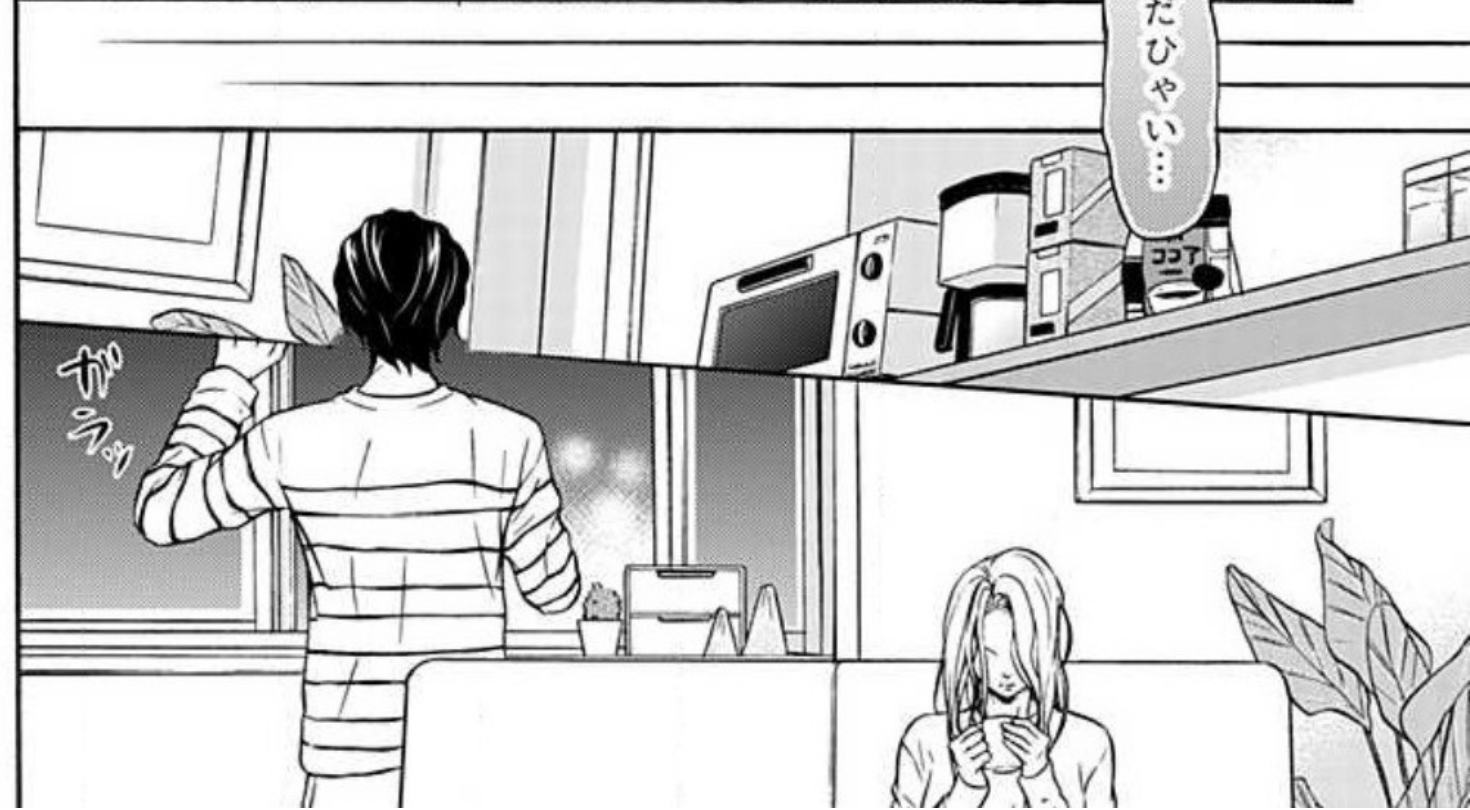


彼氏が他の女と  
腕組んで歩いてるの  
見た——!!!

ど定番すぎ  
はい却下



却下つて  
何っ!?



今回は大丈夫だと思っただけです…

私のことちゃんと愛してるって言うってくれるし

デートの度お財布忘れたなんて言わないし…

本当…

お前の大丈夫の基準低すぎないか？

別に何か(面白そうなことが)あったら

…すみませんいつもこんな話ばかりで…

うちに(ネタ提供しに)来いって言ったのは俺だし

小説のネタになってるならヨカッタデス…

…あの日

私が前の彼に振られて路上で大泣きしてたあの日

榎田さんに  
拾われた私は

びんぎょー  
下宿先

拾ったのは  
僕様ですか？

そのまま  
彼の家へ行き

今迄の男運の  
なさを延々と  
愚痴りながら  
酒を呷り

カニカニ

気付けば  
人様のベットで  
寝てたという

……今回の  
お礼は  
何にしましょう……

あっ  
反省だった

んー……  
今回のネタに  
なんないしなあ……

……オムライス

手作りの  
オムライスが  
食いたいなあ

ハチャップ  
ライスの

そんなもので  
いいんですか？



それで  
彼氏とは  
どうなったの？

しっかし  
不思議よねえ

アンタと  
先生って

別れました

ただ偶然  
道端で出会った  
だけなんでしょ？

うんっ

一介のOLが  
有名小説家と  
出会って

しかも  
恋愛相談する仲に  
なるなんて  
なんの奇跡？

でも  
いいよねーっ  
榎田先生と  
出会えるなんてっ

そんな素敵なお  
出会いがある  
なら

私も道端で  
行き倒れよう  
かしら…

まあ…でも  
堂々と小説の  
ネタにされるん  
だけだね…

それ次の日  
交番から出勤  
コリスだからね

言えたら羨望は  
ないけど



榎田さんの小説って  
そんなにいいの？

読んで  
ないの!?

だって、  
自分の  
ネタが...

なら  
なおのこと  
読んで!!



最後は絶対  
誰よりも幸せに  
なるのよっ!!

だから  
あんたは読んだ方が  
いいっ!!



先生の書く女は  
基本クソみたい  
に  
可哀想で

自分の誕生日  
プレゼントが  
パチ屋の景品  
だった

景品

大食いな彼のために  
毎日彼の家行って  
ご飯作り置き  
してあげてたら

実は浮気相手と  
一緒に食べる分  
で  
彼大食いじゃ  
なかったとか

本当...  
バカかな? って  
思っちゃうけど!!

あぁ...  
何て不機嫌な子...





何？  
知り合い？

もしかして  
お友達さん？

えっ!!

あれ？

おいっ!!  
やめろって



知らねえよ  
こんな女

ヒューン



元カレ

——…何これ？



別にこの人に  
未練なんて  
何も無いし

ねえ貴方  
本当に彼のこと  
知らない？

浮気相手の女と  
一緒にいようが  
関係ないのに

何その言い方!!  
なんだか  
怪しいーっ

えっ？





知らないなら  
ハッキリ言って  
くれるかな？

おいっ!!  
もう行くぞ!!

身体が  
動かない…

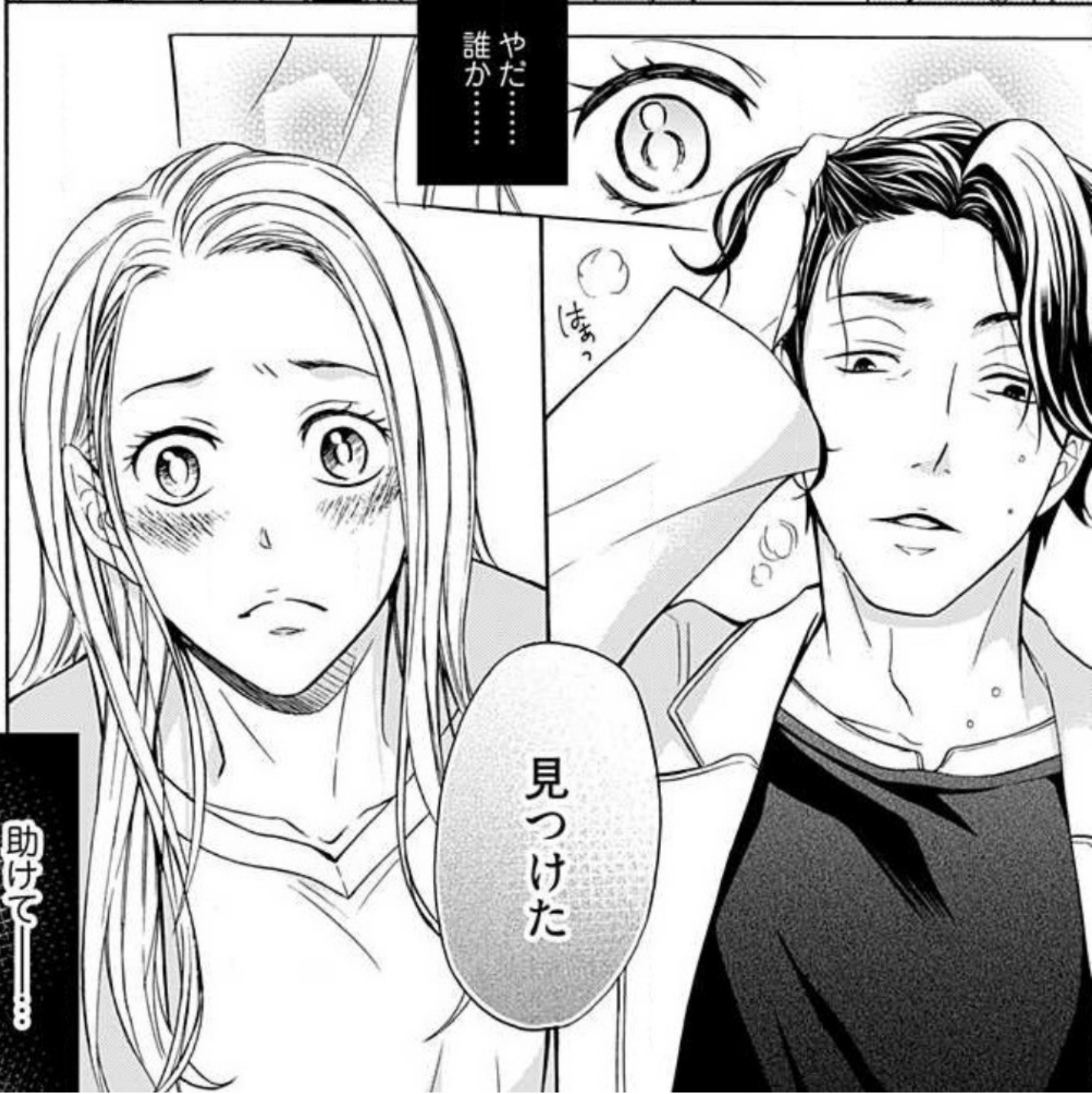


何よ!!  
友達なら別に  
隠す必要  
ないじゃない!?

いや…  
だから

ハッキリ  
してよ!!

怖い…



やだ…  
誰か…

見つけた

助けて



近くて打ち合わせ  
してたから  
よかったものの

お前と接いで  
きたんだから...



あ、  
本当だ...  
悪い!!  
今日急な打  
入ったから  
又今度でお願

手出せ

かなこー!!  
今日晩ご飯決め  
私の手料理食べ  
今駅前に入る



はっ  
はっ

なんで  
ここに...  
お前...

お前!!  
連絡する相手  
間違えたたる!?



それが  
俺のオムライス  
だろが

先に  
帰ってて



おまっ



アイツだって  
男いたんじゃ  
ねえかよ...



...なんだよ  
ボク...





……この鍵を使って  
入ったら  
なんだか今までの  
関係性が変わって  
しまいそうで……

その……



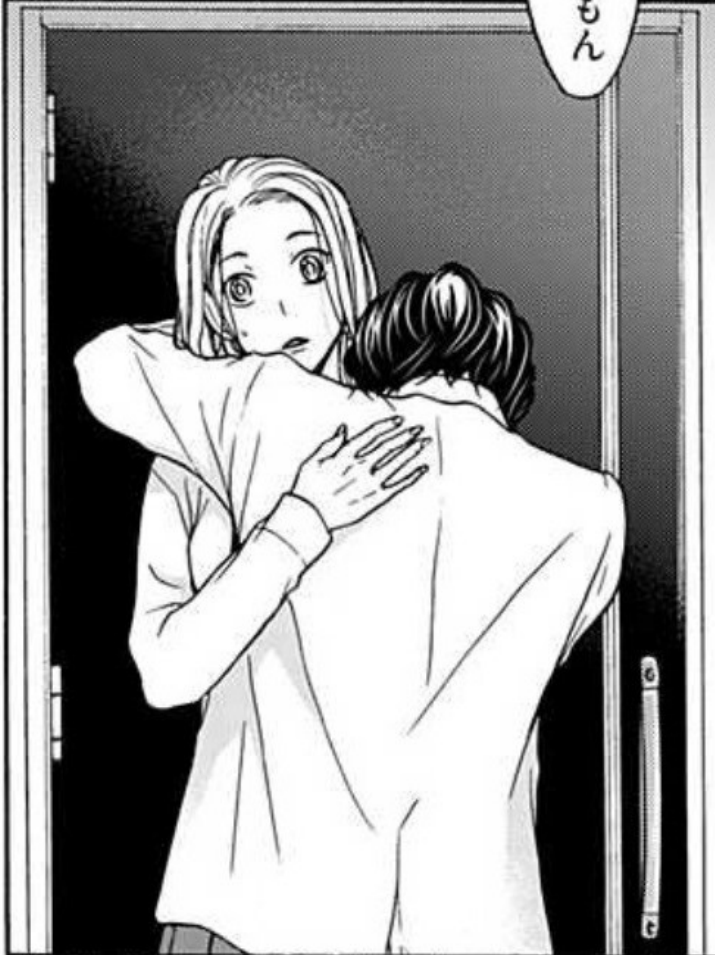






ははっ…

…っんなもん



いつもすぐ  
次の男見つける  
から

いつになったら  
俺んところ  
来てくれんのかと  
思ってた

そんな素振り  
これっぽっちも  
見せなかつたじや  
ないですかっ!?

好きだから  
隠せたんでしょが

逃げらんない  
ように

居心地いい  
場所作って



いい人演じて



すっ…





俺結構ズルいの

かあ



待っ…

熱い

榎田さんっ…

何も…

榎田さん  
待って…

考えられなご…

クランクンする

もう  
待てない



力抜いて  
久下...

あっ!?!  
ウソッ!?!

チキチキチキ

チキ

チキ

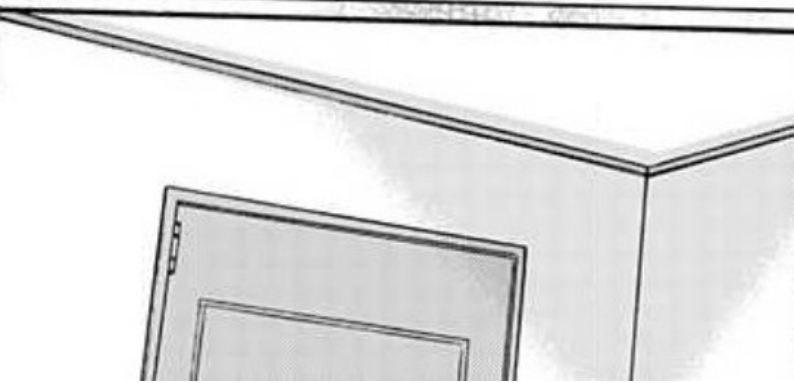
チキ

チキ

チキ



全てが満たされてる...





……いつから



そろそろ  
顔見せてよ…

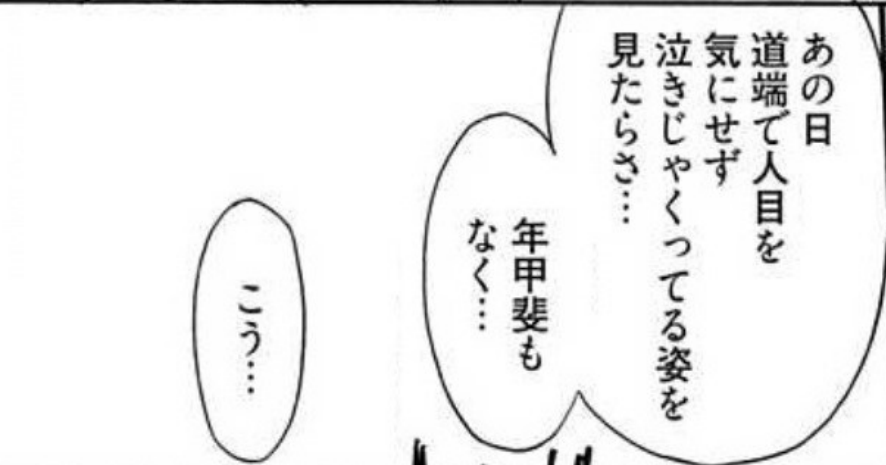
隠れてはいけません



……いつから

私のこと  
好きだったん  
ですか？

んー？



あの日  
道端で人目を  
気にせず  
泣きじゃくってる姿を  
見たらさ…

年甲斐も  
なく…

こう…



最初から

えっ!?

かばっ

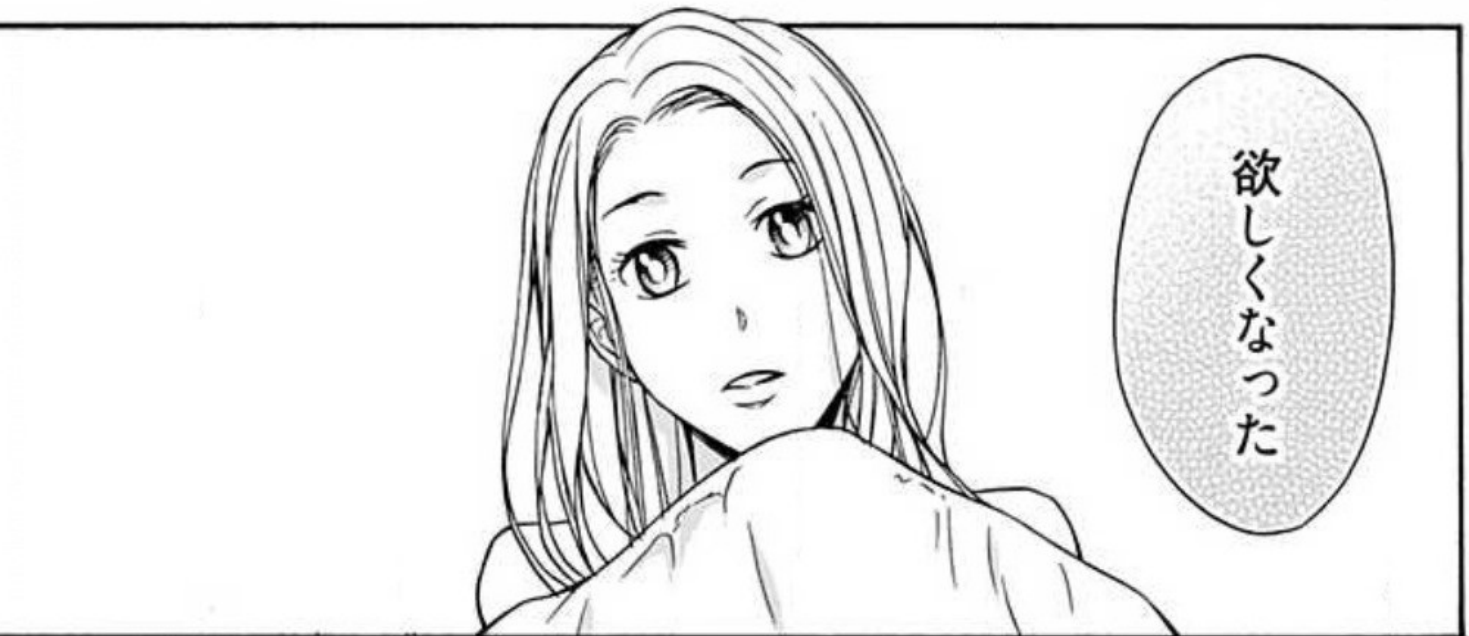


下半身に  
キタ



いや本当

今時こんなに  
素直に感情  
剥き出しにできるの  
いいなと思って



欲しくなった



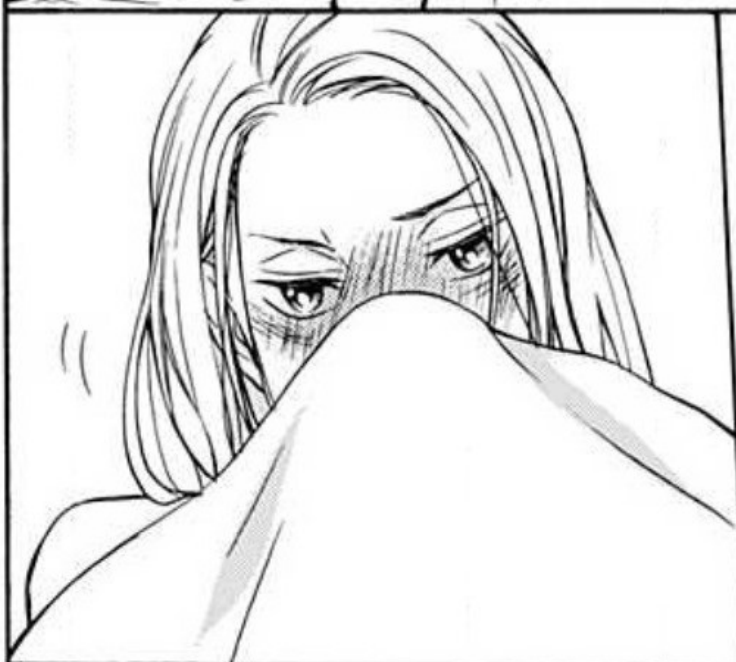
…あれ？

久下お前  
俺の本は読まない  
んじやなかった？

…榎田さんは

私のこと

最後はちゃんと  
幸せにしてくれるん  
ですか？



ヤバイ今の  
すげえキタ…

もう一回  
ミキ…

ええっ!?!  
嘘っ!?!

キヤッ